



第5回 育児セラピスト全国大会 報告書

あそび + 発達心理学 $\times f^2$ = アタッチメント教育



主催：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会
後援：学校法人 大乘淑徳学園 淑徳大学短期大学部
協力：学校法人 関西女子学園 宝塚大学
株式会社 ハッピーチャイルド

第5回 育児セラピスト全国大会

あそび＋発達心理学× f^2 ＝アタッチメント教育

主催：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会
後援：学校法人 大乘淑徳学園 淑徳大学短期大学部
協力：学校法人 関西女子学園 宝塚大学
株式会社ハッピーチャイルド

■ はじめに

今年の全国大会は、第五回目という節目を迎えました。仏教の世界では、「五」という数字は、何かと意味深い数字だということを聞いたことがあります。そこで仏教における「五」という数字について調べてみました。「五欲」「五色」「五戒」「五根」「五力」・・・ほかにもたくさんありました。

その中で私が着目し、大会の冒頭でお話したのは、「五根」でした。「五根」というのは、仏教の修行によって身に付ける基礎能力であり、五つの修行科目によって身につくものとされています。それぞれ「信根」「精進根」「念根」「定根」「慧根」の五つからなっており、最初に仏陀を信ずる力である「信根」からはじまります。「精進根」は、一言で言えば実践力、「念根」は観察力、「定根」は揺らがらない力、「慧根」は智慧の力となります。さて、これら五つの基礎能力を、アタッチメントにあてはめて、「アタッチメント五根」として見てみましょう。

アタッチメントを信じる力にはじまり、優秀実践発表に代表される実践力の「精進根」、子どもや親に何が必要とされているかを見極める観察力の「念根」、活動を続ける揺らがらない力の「定根」、学び続ける態度の先にある知識と知恵の「慧根」と、見事に「アタッチメント五根」として、それぞれ当てはまります。つまり、今年の節目は、「私たちの活動ややってきたこと、その見方や態度、関わり方、何を思ってそうしてきたか」といったことを、ここで改めて見直すことが、大きなテーマであったように思えます。



■ 今回のテーマ

「あそび＋発達心理学× f^2 ＝アタッチメント教育」について

今回のテーマである、この数式の核となるのは、変数「 f 」の存在です。この変数は、二乗されているところが、その影響力の強さを物語っています。「 f 」には、いろいろなものを入れることが出来ます。愛情、愛着、親、家族、先生、仲間、サポーター・・・様々なものが入り得るでしょう。「アタッチメント教育」とは、「あそび＋発達心理学」に、こうしたアタッチメントを求める者と与える者による「変数 f 」を二乗して掛け合わせたものだ、というメッセージです。そして、「教育」というものに、いかにしてこの「変数 f 」の要素を組み入れていくのか、というのが、今回のテーマでした。

これまで、われわれは、協会の名称にもある「アタッチメント育児」を掲げてきました。それは、これから先変わることはありません。しかし、2015年からは、「アタッチメント育児」を教育にまで展開する必要があると考えています。ですから、この2014年の全国大会というタイミングで「アタッチメント教育」を掲げることには、大きな意味があると感じています。それは、「育児を教育として捉え、教育を育児として捉える時代」と言っても良いかもしれません。

幼児教育の低年齢化が進み、0歳児教育が一般化していく中で、目先の結果や、なんでも早く出来るようにさせようとする先取り学習が親たちの目を引き、0歳児や1歳児、2歳児に対して、そうした教育が施されがちなのが現状です。しかし、われわれは、教育の中でも、「子どもの育ち」を混乱させることのない教育、育児の中で当然大事にしていくべきものを忘れない教育、子どもの未来の可能性を大きく広げるための大きな土台作りの教育、そうした本質をしっかりとはずさない教育を子どもたちに与えることを、ご縁を持った親御さんたちに伝え続けていきたい。この理念こそが今回のテーマに「教育」という言葉を置いた所以です。



(社) 日本アタッチメント育児協会
代表理事 廣島 大三

シンポジウム

symposium

特別講演 桜美林大学 山口創先生

■ 講演テーマ

アタッチメントを築くスキンシップの極意 ～ オキシトシンの役割



シンポジウムは、山口創先生の講演からはじまりました。山口先生のご著書「子どもの脳は肌にある」は、私も読ませていただいております、その内容にずいぶん共感した本でしたので、今回の講演は、非常に楽しみにしておりました。

山口先生は、スキンシップの重要性を説いておられ、オキシトシンというホルモンの分泌との関係や、スキンシップによる心の発達や精神安定効果についてお話いただきました。中でもとりわけ興味深かったのは、オキシトシンの話でした。ベビーマッサージなどのスキンシップによって、マッサージされた側（赤ちゃん）にオキシトシンが分泌されるわけですが、実はそれと同時に施術者（お母さん）の方にも、オキシトシンの分泌は促進されるという研究結果があるそうです。



もちろん、われわれは、経験則としてこのことは知っています。ベビーマッサージをすると、赤ちゃんが気持ちよく、安定的になるだけでなく、やっている方のお母さんも、同じように気持ちよく癒され、安定的になることは、経験としては知っている方も多かったでしょう。しかし、このことを、オキシトシンの分泌の効果として学術的な文脈で聞くことが出来たのは、非常に有意義なことです。「ベビーマッサージは、赤ちゃんにとっても、お母さんにとっても、心を癒し、精神を安定させ、幸せにしてくれる営みなんですよ！」というメッセージが、精神論ではなく、実体のあるホルモン分泌としての効果として理解できるからです。

しかし、オキシトシンの分泌を促すスキンシップというのは、単なる「触る行為」ではないということです。そこに「心」「愛情」というものが込められて、はじめてオキシトシンが分泌されるそうです。ベビーマッサージは、施術者にやってもらうのではなく、お母さんが赤ちゃんにやってあげる営みであることの根拠は、ここに 있습니다。マッサージそのものに効果があるのではなく、愛情のこもったマッサージに、オキシトシン分泌効果があるということです。

さらに、おもしろいことに、子どもの頃に、ベビーマッサージなどによって、オキシトシン分泌を、頻繁に促されてきた子どもは、オキシトシンを分泌しやすい体質になるそうです。そして、そのオキシトシン分泌体質は、一生涯つづくのだそうです。それは、つまり、自尊感情が強く、心が安定していて、緊張状態に耐性が強く、落ち込んでも立ち直りが早い体質を得ることが出来るということです。これは、「幸せに生きやすい体質」と言えますし、ぜひ子どもに与えてあげたい体質です。

これらの内容は、われわれも「アタッチメント」の文脈で、ずっと言ってきたことですので、非常になじみ深いものでした。もう一つ、山口先生のお話の中で、われわれになじみ深い話がありました。それは、「昔ながらの子育て」を見直す視点です。山口先生は、このことを、江戸時代や明治時代の子育てを例に解説されました。幕末の江戸を訪れたイギリス人駐日公使オール・コックが、当時の江戸では、父親が子どもを抱っこする姿をあちこちで見ることができたことに驚いたといひます。夏には、お父さんはふんどし一枚で、裸の子どもを抱っこし、冬は上着の中に入れて子どもを抱っこする光景が、ありふれていたそうです。また、明治時代に日本の子育てに触れたイザベラ・バードは、子どもを抱っこしたり、おんぶしたり、手を取ったりして、自分の子どもに喜びをもって接し、また他人の子どもにもそれなりの注意と愛情を注ぐ姿に感動したといひます。これらは、今では、忘れ去られようとしている「日本の素晴らしい子育て文化」と言えます。そうした「良きもの」は、次の世代に積極的に受け継いでいくべきだ、というメッセージが感じられました。



まさにこのことを、私は、「子育てルネッサンス」と言っています。抱っこにおんぶ、川の字で寝ること、わが子に喜びと誇りを持つこと、他人の子どもにも愛情を注ぐこと・・・こうした日本の子育て文化を、われわれは継承していかなければいけないと、改めて強く思いました。しかし、単なる懐古主義では、受け入れられません。それは「ルネッサンス」の名の通り、現代に合うような形に焼き直して、「新しいもの」として提示しなければ、ならないのだと思います。

山口先生の講演の様子をお伝えするうちに、わたし個人の思いも混ざってしまった部分がありますが、それほどに「私の思いが重なった」講演内容であったことを、最後に付け加えさせていただきます。

(文責：廣島大三)

参加者の声

小さい頃にオキシトシンがたくさん出るようにしておくことで、それが一生続く、また自閉症の症状軽減につながるという話が印象的でした。発達検査で自閉症の診断を受けて、関わりに困っている保護者の方たちにも、スキンシップの大切さを伝えたいと思いました。

(保育士 57歳 三重県)

皮膚と脳はそもそも同じ場所に存在していることが改めてわかり、今まで学んだことが結びついて大変参考になりました。スキンシップは意識して行ったことがなかったが、子どものためにも積極的に日常の中で行っていきたいと思いました。

(主婦 28歳 東京都)

2014 年 優秀実践発表会

この優秀実践者は、活動報告をご応募いただいた方の中から、みんなで共有させていただきたいような象徴的な活動をされた方を毎年選ばせていただいています。ご自身の一年の活動のまとめとして、あるいは活動の節目の記念として、応募される方も多いようです。今年は、4 名の方に発表していただきましたが、どれも非常に有意義な発表で、参加者からも「とても勉強になった!」「やる気が湧いてきた!」「自分の教室でも役立てられる」といったお声をたくさんいただきました。

- … ABMアタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター
- … 育児セラピスト 2 級
- … 育児セラピスト 1 級
- … アタッチメント・ヨガ (for マタニティ & ベビー) インストラクター
- … アタッチメント・食育 インストラクター
- … A KMアタッチメント・キッズマッサージ インストラクター
- … A GMアタッチメント・ジム インストラクター
- … あそび発達 インストラクター

子育て支援部門



上原 理香さま 体育講師 (大阪府)

「5 年間継続してベビーマッサージ教室を続けている秘訣」

上原さんは、子どもの体操の先生をされており、赤ちゃんへの営みとして、ベビーマッサージ教室を展開されています。2009 年に ABM ベビーマッサージ資格を取得されてから 5 年間、継続してベビマ教室の活動を続けてこられました。上原さんの「続ける秘訣」は一体何だったのでしょうか。

発表を聞いて私は、「続ける秘訣」に、2 つのポイントがあると思いました。これは、上原さんが最後に紹介していたことですが、私は、真っ先にご紹介したいポイントです。それは、「わかりやすく明快なコンセプトの宣言」です。上原さんは、自ら決めたコンセプトを「3 つの R」と表現しています。それぞれ、Relax (リラックス)・Refresh (リフレッシュ)・Return (リターン) です。「お母さんたちにリラックスしてもらい、リフレッシュしてもらい、そして何度も来てもらえる教室にしよう」このことを、まず自分に対して宣言しています。そして、毎回、教室に来たお母さんたちにも、このことを宣言しています。このように言語化し、それを伝えることによって、言葉は現実化します。



そもそも、「続ける」ためには、「本人の意志」が続くこと、そして「生徒さんの流れ」が続くこと、この二つが両立して、はじめて続けられるわけです。上原さんの場合、自分への誓いが明確であったから、本人の意志も揺らぐことなく続いたのでしょうか。そして、生徒さんの流れについては、「また来たい!」と思ってもらえるくらいの満足が、新たな人を呼んできたのでしょうか。このことも、「コンセプトの宣言」が起因しています。もう一つ、上原さんの教室に「生徒がいつも絶えない理由」を見出すことが出来ました。それは、プログラムが緻密に組まれていることです。発表では、1~7 の項目に分けられていましたが、そのプログラムの流れが、コンセプトとぴったり一致しているのです。それを最も象徴していたのは、ベビマの実技の前に「ママリラックス体操」が入り、最後に「ママのストレッチ」で締めくくられている点です。上原さんのコンセプトの通り、主役はママなのです。お母さんの満足度は、非常に高いことが想像できます。



最後に、もう一つ、上原さんの発表から生まれたものをご紹介します。それは、「勇気」です。実は、上原さんは独身であり、出産経験も育児経験ありません。そんな上原さんが、ママたちの先生になるのには、大変な勇気が必要だったと思います。これについて上原さんは、「弱点だったら、それは同時にストロングポイントになるはず」と考えたとおっしゃっていました。恐らく、育児経験がない分、知識をしっかりと身につけたでしょうし、教室では、盛り上げグッズをしっかりと準備するなど、出来ることをちゃんとやられていました。その結果、お母さんたちに支持され、慕われ 5 年間も続けてこられています。このことは、同じように独身でベビマインストラクターをされている方や、なかなか一歩を踏み出せないでいる方の、大きな大きな励みになったと思います。



板倉レディースクリニックさま（長野県）

取得資格

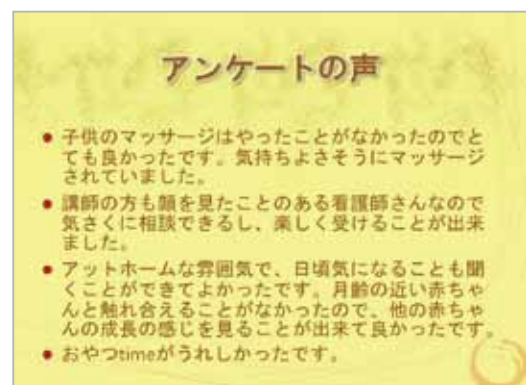


「地域の子育て支援を担う産婦人科医院の試み」

発表は、土倉明子さんに行っていただきました。板倉レディースクリニックさんは、長野県にある産科と婦人科を擁するクリニックです。今回は、クリニック全体としての取り組みの素晴らしさを評価させていただきました。

板倉レディースクリニックさんは、「スタジオ・ボイト」という立派なスタジオが、クリニックの建物とは別に併設されています。このスタジオは、クリニックとは違ったより親しみやすい雰囲気をつくることで、妊婦さんや患者さんたちをもてなしたい、という思いが込められているそうです。ディレクターの板倉祥子さんのもと、土倉さんをはじめとするベビーマッサージインストラクター4人のほか、マタニティヨガやアフタービクスのインストラクターもいるそうです。

最も特徴的なのは、インストラクターは全員、クリニックの看護師や助産師であるということです。私は、この意味は大きいと感じています。これによって、クリニックの理念とスタジオの理念の両方を、同じ人が共有して、それぞれの役割を果たせます。もう一つ重要なのは、クリニックの看護師や助産師だからこそ、妊婦さんや患者さんとの「関係性」がすでに出来ています。そうした人から、ベビーマッサージを習えるというのは、非常に理想的な環境です。



さらに興味深かったのは、「スタジオ・ボイト」で教室をやるようになって、「自分もインストラクターとして、お母さんたちを喜ばせたい」という目標が明確になり、スタッフのスキルアップに対するモチベーションが上がったということです。これは、団体での取り組みならではの相乗効果だと思います。

板倉レディースクリニックさんの事例において、最も重要なポイントは、「スタジオ・ボイト」が、クリニックと妊婦さんや患者さんをつなぐアタッチメントの役割を担っていることだと、私は発表を聞いて感じました。スタジオの存在が、妊婦さんや患者さんの満足や出産に對しての肯定的な気持ちを引き出し、さらにスタッフのやりがいや満足感、成長へのモチベーションも引き出しています。さらに、板倉レディースクリニックさんでは、スタジオの取り組みを、今後は地域へと広げていかれる展望だそうです。そうなれば、地域の子育て支援の核として機能し始めます。「スタジオ・ボイト」の活動を、ひろば事業として展開することも出来るかもしれません。

同様の取り組みは、産院やレディースクリニックだけでなく、小児科医院や歯科医院などでも応用できると思います。ぜひ、医療関係の方は、参考になさってください。患者さんとスタッフの両方に良い相乗効果が生まれる理想的な病院経営のモデルが、ここにあるのではないかと感じさせてくれる発表でした。





高橋 直美さま ベビーマッサージインストラクター（秋田県）

取得資格



「思いを伝えて共感の波を起こすベビーマッサージ体験会」

高橋さんは、生徒の縁を上げ、主催者との縁を拡げることで、自然と活動を上げて現在の形を作られています。その「つなげる力」を学ばせていただきました。

高橋さんのベビマ教室は、入会金 800 円、レッスン 1000 円／回で運営されています。それだけを聞くと、特に驚きはないでしょう。しかし、これは、単発ではなく、月 2 回の継続レッスンを基本とする運営だと聞くと、いかがでしょう。しかも、競合がすでにいる状況でのことです。私は、すごい！と思いました。なぜなら、継続レッスンの難しさを知っているからです。私自身も、単発やチケット制などが現実的な運営方法だと考えていました。しかし、高橋さんは、実際にやっています。発表を聞いて、その秘訣がわかりました。

それは、意外にもシンプルなことでした。「(他のベビマとの) 違いを伝える」「良さを伝える」そして「思いを伝える」ということを、徹底してやることです。初回は、必ず体験会に参加してもらい、「アタッチメントベビーマッサージとは・・・」、「愛着関係について・・・」、「触れ合いについて・・・」、「育児について・・・」といった背景の話をしっかりと話されるそうです。その中で、高橋さんの「ベビマへの思い」「自分の活動の動機」などを語られるそうです。この時点で、お母さんは「高橋さんのベビマでなければイヤだ！」と思う事でしょう。

高橋さんは、この体験会に、たっぷり時間を取っており、お母さんたちの話も、じっくり聞くそうです。ですから、体験会は、基本マンツーマンか、多くても 2～3 人だそうです。そして、すべての人と、このような濃密な時間を持った上で、継続レッスンに入ってもらえるのだそうです。体験会でお話をしたお母さんは、100%継続レッスンを申し込まれているそうです。

通常、体験会というと、レッスンに無料参加してもらおうスタイルや、少し簡略化した単発レッスンを提供して、「ベビマの良さを実感してもらおう」という趣旨のものが多いと思います。しかし、高橋さんの体験会は、全く趣旨が違います。体験会で「お母さんとの信頼関係を作る」ということを趣旨としているのです。



多くの皆さんは、高橋さんと同様に「思いを伝える」ことをやられていると思います。しかし、高橋さんの場合は、これについて、徹底しているのです。だから、体験会に来た時点で「お母さんとの信頼関係を作る」段階にまで関係性を深められるのです。そして、このことが、お母さんの中に、継続レッスンを受け続けるというモチベーションを生んでいるのです。そして、そのような深い関係性において行われる教室だからこそ、人が人を呼ぶ流れを生みだすのです。本当のクチコミとは、ただ良い評判が広がる事ではなく、「思い」が人を伝って広がっていく事なのだとことを、改めて感じさせていただきました。私は、こうした本当のクチコミを「共感の波」と呼んでいます。高橋さんは、まさに「共感の波」を起こしている事例だと思います。

このことは、生徒さんが集まる流れだけでなく、主催者からの依頼が集まる流れにも波及しています。高橋さんは、ベビマを依頼されると、やはり生徒さんにしたのと同じように、担当者さんとお話の場を設けるそうです。すると、担当者さんも、高橋さんの「思い」に共感し、今度は、別支局や別部署あるいは別団体の担当者にクチコミをするそうです。そうして、今では、あっちこちからベビマの依頼を頂くようになったそうです。

生徒さんからの「共感」と担当者さんからの「共感」が合さって、高橋さんの「思い」が、波のように大きく広がります。高橋さんの「共感の波」、今後も期待しています。



本郷 美保さま 看護師（福岡県）

取得資格



「資格取得後、半年で 60 組以上の親子が生徒に」

本郷さんは、なんと 2014 年 4 月に資格を取得したばかりなのです。そして、このわずか 6 か月で、6 か所でベビマ教室を展開し、60 組以上の親子を生徒さんに持つまでになっています。この初動の瞬発力は、皆さんの参考になると思います。

さて、みなさんは、「本郷さんは、どんなウルトラ C を使ったのだろうか？」とお思いになったのではないのでしょうか。実は、本郷さんが、やってきたことは、決してウルトラ C のようなことではありませんでした。

はじめは、他の方と同様に、たった 2 組（うち 1 組は友情参加）からのスタートです。しかも、引っ越してきたばかりの人脈ゼロの土地柄で、8 か所の子育て支援センターのうち、すでに 5 か所はベビマ教室が導入済み、市内には 3 か所のベビマ教室が競合として存在していました。さて、そんな中で、本郷さんは、どうやって活動を拡げていったのでしょうか？大いに興味を引きます。

ママになって新たなチャレンジ・夢



私が発表から読み取ったのは、本郷さんの持っている「3 つの力」です。一つ目は「めげない力」、二つ目は「タイトル&企画力」、そして 3 つ目は「Facebook 力」です。

まず大事なのが、「めげない力」です。私が、たくさんのインストラクターの事例を見てきて思うのは、みなさんこの「めげない力」をお持ちなのです。本郷さんだけでなく、活躍している多くのインストラクターも、最初は 1 組や 2 組、それもお友達の友情参加からスタートしています。それでも、めげずに続けていると、ある時人の流れが動き始める瞬間があります。つまり、クチコミが動き始めるのです。そのポイントまで、「めげずに続ける」かどうか「めげない力」なのです。

大好きなパパとベビーマッサージ
2カ月に1回

5組親子さま



次に、「タイトル&企画力」です。本郷さんの教室は、こんなタイトルがつけられています。「子育てが 5 倍楽しくなるベビーマッサージ教室・ベビママサロンくまちゃん」こうしたちょっと気を引いたり、なんだろうと興味を持ったり、思わずクスッと笑ってしまったりするようなタイトルは、人を集める上で、想像以上に大きな力を発揮します。今回の全国大会で「おもしろいタイトルをつけるワーク」を行ったのも、このことを伝えるためです。また、おもしろいタイトルと共に、おもしろい企画のイベントを行っているのも、ポイントです。おいしいパンケーキを食べられるカフェでベビマをやってみたり、パパのベビマ教室の企画では、パパが赤ちゃんにベビマをやっている間、ママはカフェでリラックスするといったものです。こうした「ひとひねり」

があるタイトルや企画というのは、思った以上に人を集める力があるのです。

最後は、「Facebook 力」です。これは、一昨年の優秀実践者の峰孝子さんとも共通しますが、SNS というソーシャルサービスの力を、うまくコミュニティ作りに活かしています。本郷さんの場合、教室の生徒さんと Facebook 上でお友達になります。そして、教室で行ったベビマやおしゃべりの様子を写した写真を、Facebook に投稿します。（掲載の際は、許可をとります。）生徒さんにとっては、自分や子どもの写真が Facebook 上に掲載されればうれしいものです。また、イベントや教室の告知なども、Facebook で行います。そうすると、生徒さんの友達にも、こうした楽しい写真や、イベント情報や教室のスケジュールが共有されます。自分の友達が実際に通って、楽しそうにしている様子を見るわけなので、安心して、この教室に来られるわけです。これは、みなさん今日からもマネできるので是非まだ未活用の方は、「Facebook 力」を発動してください。Facebook は、特に難しくはありません。始めることが大切です。ちなみに、当協会も Facebook ページがあります。みなさんぜひ「いいね」して、協会ともつながってください！

最後に、本郷さん、たった 6 か月でここまでやり抜くのは、本当にスゴイことです。ずっとずっと、「ベビママサロンくまちゃん」を続けていってください。

実践活動報告のご紹介

竹内 久美子 さま 私立保育園 園長（東京都）

取得資格



「保育園で地域の子育て支援事業として行なっています」

2014年4月に新しい保育園を開園しました。在園児の保育の他に、地域の子育て支援事業に力を入れており、地域のお母さんたちから受講希望を募って、5～7組の親子をひとクラスとして月に2回のベビーマッサージ講習を行っています。講習を受けた後のお母さんからは「ベビーマッサージの後はよく眠って機嫌が良く、参加してよかった」「講習会でお母さん同士の友達が増えた」などうれしい声をいただいています。ベビーマッサージを通して、親子の相互的な関わりの中で、愛着関係の大切さを伝えられるといいなと思っています。



稲田 仁子 さま 児童館厚生員（宮城県）

取得資格



「パッチテストの待ち時間には 読み聞かせやお母さんのリラックス体操を行なっています」

児童館で、月に1度ベビーマッサージ教室を開催しています。参加人数は3～6名程度です。参加費は非営利団体のため、原則無料ですが、オイル代として100円いただいています。参加者は、初めて出産されたお母さんでママ友達がまだいない方や、2～10ヶ月のお子さんがいるお母さんが多いです。パッチテストの待ち時間に、読み聞かせや紙芝居、手袋人形遊び、お母さんのリラックス体操などを行なっていて、いつもお母さん方に楽しみにしてもらっています。「お母さんに赤ちゃんがかわいいと思える時間を作ってほしい」という想いで活動しています。そして、子育ては楽しいものだと感じてくれたらうれしいです。

G. E. さま 主任保育士（三重県）

取得資格



「親と子にとって安全・安心できるコミュニティの場をめざして」

アタッチメントという概念は、相対的に無力で、絶対的な保護を必要とする乳幼児期、児童期のみに適応され得られるもののように錯覚されがちですが、自律性を獲得した後でも、形を変えて、生涯を通して存続すると思われます。そのことを妊娠期から知ってもらうことは、大変意味があると捉えています。プレパパママ教室でベビーマッサージ体験を通して、アタッチメントの重要性を伝える機会にしています。また、子どもが生まれてからも、ベビーマッサージやふれあい遊びなどに積極的に参加してもらう場作りをしています。親と子にとって安全・安心できるコミュニティの場として、子育て・子育てをサポートしていきたいと思っています。



山下 富代 さま 保育士・ベビーシッター派遣業経営（神奈川県）

取得資格



「親御さんが教室から帰るときは笑顔が自然に出るようになっていきます」

今年で 19 年目になる託児サービス「まみーるーむ」の代表をしています。東京・神奈川を中心に働くお母さん方のサポートをし、お子さんには母親代わりの対応をしています。今までの幼稚園教諭や保育士、人形劇団座長の経験を活かして、人形との掛け合いや運動遊びなどを絡めながら、日本アタッチメント育児協会で学んだ発達心理学やアタッチメント理論を伝えています。教室に来た親御さんは、笑顔が自然に出るようになって帰ってきます。この最初に会ったときと、帰るときの親御さんの表情の違いを感じるのがいちばんのやりがいです。

加藤 響子 さま イラストレーター・ブロッガー（千葉県）

取得資格



「マンツーマンでママと赤ちゃんのペースに合わせて教えています」

ベビーマッサージ教室「ぷっぷくほっぺ」を開催しています。活動場所としてアパートの一室を借りており、また保育園から声をかけていただいて開催することもあります。ベビーマッサージだけでなく、工作教室や読み聞かせ、お茶会も交えて活動しています。

前から育児ブログをやっており、アクセス数が月に 15 万ほどあるので、ブログでの集客は効果絶大です。ブログの読者さんが遠方から来てくださるときはいつも感動します。また、その他にはホームページや Facebook ページ、LINE@ を使って集客をしています。最近では LINE@ のメッセージで問い合わせをいただくことが多いです。基本的に個人レッスンを行っており、マンツーマンなので、赤ちゃんが泣いたら中断でき、またママが上手でできない所はわかるまでゆっくり教えることができます。本当の意味でのアタッチメント・ベビーマッサージを伝えることを目指しています。



ベビーマッサージ教室「ぷっぷくほっぺ」 <http://www.ppk-baby.jp/>

活動報告大募集！

インストラクター及び育児セラピストの皆様は普段、様々な活動やイベントをされているかと思いますが、事務局及び協会関係者は、皆様の活動をすべて把握する術がございません。そこで、当協会ではインストラクターの皆様が活動されている現場の活動報告を募集しております。

お寄せいただいた活動報告の中で、共有したい事例をホームページや会報誌等でご紹介させていただければと存じます。活動の様子の共有を通して、より多くの方の今後の活動のきっかけにさせていただきたいと思っておりますので、是非ご協力をお願いいたします。

応募方法 郵送またはメールにてご応募ください。形式は自由です。

応募先 (社) 日本アタッチメント育児協会

郵送 : 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-15-14 パックス金山ビル 4F

メール : info@naik.jp



ランチパーティー

全国大会は、全国からインストラクターや育児セラピストが集まる年に1度の機会です。「この貴重な機会に交流をしない手はない！」ということで、ランチパーティーを行いました。

毎年、体にやさしくて目にもおいしい当協会こだわりのランチをご用意しています。そんなランチを食べながら、皆さんリラックスして和気あいあいと楽しそうに歓談していました。同じ講座を受講した同期や、担当講師と再会できた方もいて、近況の報告をし合っている方もいました。

活動を積極的に続けている方、まだ資格を取得したばかりの方など様々な立場の方が、いろんな想いを持って参加されました。明日からの皆さんの活動のパワーの源になったと思います。



グループワーク 2015年に向けて 企画のアイデアワーク

思わず参加したくなる、親子イベントのキャッチフレーズを考えるワークを行いました。このワークで話し合ったことは、持ち帰って実際の活動の場でもすぐに実践していただけます。

＜実際に考えていただいたキャッチフレーズ＞

*パパが赤ちゃんをひとり占め～ベビマ編～

ほどよいイクメンパパになっちゃうかも！？

*心も体もオープンカフェ～同級生ママの会～

*パパ、ぎゅっとしてあげる！今日はパパが主役の日

*家庭円満！じじ育ばば育

*家族みんなでスペシャルタイム



このワークから新しい活動が生まれることを期待しています。

(文責：伊藤 瑛美)

参加者の声

自分の学んだことや、思いを伝えたい！というとても前向きでキラキラした方がとてもたくさんいて、話を聞いたり、実際にお話させていただいて、何かしたい！というとてもワクワクしてきました。

(保育士 29歳 愛知県)

本日は、自分を振り返ることが改めてできました。貴重な経験であり、過去があり今がありこれでいいのだと思えました。そして今後の課題も見つけることが出来ました。ありがとうございました。

(歯科衛生士 50代 大阪府)



一般社団法人 日本アタッチメント育児協会の活動

保育士や看護師、子育て支援施設など、育児にかかわる仕事に就業している方たちを主な対象として、下記のような講座を企画・運営しています。

アタッチメントを伝えるための講座

ABM アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター



ベビーマッサージ本来の効果である、『アタッチメントの形成』を重視し、発達心理学をベビーマッサージに応用して、メソッド化した、【ABM アタッチメント・ベビーマッサージ】。お母さんが、生まれたばかりの赤ちゃんに、心を通じあわせるためのアタッチメント・ベビーマッサージを伝えていく、協会認定のインストラクターを養成します。

アタッチメント・ヨガ インストラクター



妊婦さんとおなかの赤ちゃんが、ヨガを通して妊娠前からアタッチメントを育むことにより、マタニティブルーや産後うつなどが軽減され、良好な母子関係が育まれるマタニティ&ベビーヨガです。メソッドは、Studio+Lotus8 監修のもと、呼吸法をメインとした、体に負担をかけないポーズで構成され、妊婦さんが、安心して取り組みます。この講座では、ヨガを心理学の観点から学び、豊かな母子関係を育むことを導くヨガインストラクターを養成します。

あそび発達インストラクター



子どもの発達とイコールの関係にある「あそび」。乳幼児期、児童期の「あそび」は、子育てそのものであり、教育そのものです。この時期に「あそび」によって育まれた資質は、知的好奇心や応用力、問題解決力、論理構築力といった将来の学習能力の土台となります。単なる訓練的な幼児教育ではなく、そうした子どもにとって「本質的なあそび」を、発達段階に合わせて体験させるための幼児教育としての「あそび」を導くインストラクターを養成します。

アタッチメント・食育 インストラクター



「食べる」とこと、「人間成長(心理学)」は、直接につながっています。そこで、『「食育」+「心理学」=アタッチメント食育』を掲げ、子育てをする親に伝えるべき「子どもの成長、発達のための食育」を、心理学的バックグラウンドのもとに学びます。「心理学」、「栄養学」、「歯学」という食を支える3つの要素を通して、「食の舞台」で子どもをどう育てるとよいのかを、親に伝えるための専門知識とスキルを学んだ食育インストラクターを養成します。

発達心理学に基づく 育児の専門家になるための講座

育児セラピスト 2 級



育児や保育の実践者として、発達心理学やアタッチメント理論の基礎を学び、明日からの育児に活かす実践的な知識とスキルを身に付けます。また、セラピーにおける「心の癒し」の基本を体験的に学ぶことが出来ます。また、この資格は、「育児の専門家」として、親を教え導く「育児セラピスト1級」資格取得のための基礎資格となっています。

育児セラピスト 1 級



育児セラピスト1級は、2級で身に付けた実践的知識やスキル、体験について、学術的根拠と裏づけを、専門的に学びます。また、「育児の専門家」として、専門性を持った活動をしていくための知識とスキルと方法論を身に付けます。

育児セラピスト シニアマスター



育児セラピスト最高位の資格であり、「育児の専門家」として、子どもだけでなく、親やスタッフ、同僚などの大人に対してもコミットしていただける高度に専門的な知識やスキルを幅広く修めます。そのために、子どもの発達だけでなく、思春期の青年から、成人した大人、中年期、老年期の大人までの「生涯発達」を学びます。さらに、人間関係を円滑にするスキルや、コミュニケーションを高めるスキルにおいて、さらに高度に学ぶことが出来ます。この資格は、保育、看護、育児支援施設など、育児支援に携わる分野における指導的立場の方のための、スタッフマネジメントにおけるスキルアップ資格でもあります。

ワンランク上の知識とスキルを 身につけるためのスキルアップ講座

AKM アタッチメント・キッズマッサージ インストラクター



ベビーマッサージのより深い知識（つぼやベビーマッサージの効果など）や、1歳～6歳の子どもの親が取り組める営みとしてキッズマッサージを教える資格です。

AGM アタッチメント・ジム インストラクター



運動科学におけるキッズ体操と心理学におけるアタッチメント理論を結び付けて、体系化した、0歳から6歳までの親子体操（アタッチメント・ジム）を教える資格です。

ABM アタッチメント・ベビーマッサージ 教室運営力アップ講座



さらにレベルの高いベビーマッサージ教室を目指したい方を対象にした講座です。新生児向けのベビーマッサージや「対話読み聞かせ」を学ぶことで、教室の幅を広げることが出来ます。また、教室運営のためのマーケティングの基礎を学べます。

日本アタッチメント育児協会 トレーナー



講師や講演家として「教える」スキルを専門的かつ実践的に学び、これまでに修得してきた知識とスキルを伝える、後進の育成についても活かせる資格です。

スキルアップ資格講座

Skill-up lecture

あそび発達インストラクター養成講座



私どもは、毎年この全国大会の場で、新しい学びの講座を発表してきました。それは、私の中にずっとあったテーマもあれば、受講生や関わってくれている方々の要望から生まれたものもあります。「アタッチメントジム（体操）」や「キッズマッサージ」、「アタッチメント食育」などは、まさに、受講生の皆様からの要望から生まれた講座に他なりません。また、2012年にリリースしたアタッチメントヨガは、私の中にもともとあったテーマであり、受講生の皆さんからの要望でもありました。昨年2013年に発表した「大人の発達心理学・ライフサイクル・ファシリテーター」は、私が長年あたためていたテーマでした。

もう一つ長年あたためていたのが、今回2014年に発表した「あそび発達インストラクター」です。これは、冒頭で述べた「アタッチメント教育」の理念

- ・「子どもの育ち」を混乱させることのない教育
 - ・育児の中で当然大事にしていくべきものを忘れない教育
 - ・子どもの未来の可能性を大きく広げるための大きな土台作りの教育
- という3つの理念を掲げた幼児教育を提供することです。

この講座の中で、私は、こんなことを話しました。よくテレビで「〇〇すれば、□□になる」ということを学者さんや専門家の先生方が言って、その根拠を解説している番組があります。あれは、確かに本当なのだと思いますが、正確に言うと（・・・という場合がある）（・・・という例もある）と心の中で付け加えて解釈してください。つまり、みんながみんな、そのようになるわけではない、いやむしろ例外の方が多い、もっと言えば、そこで言われていることの方が例外かもしれないのです。そして、子どもに対して、そうした「〇〇すれば、□□になる」式の論理を当てはめることは、リスク以外の何物でもありません。例えば、「〇〇メソッドをやれば、頭がよくなる、運動神経がよくなる」といったものも同じです。（・・・という場合がある）ということです。



この講座では、最初に「幼児教育の在り方」を問いました。そして、頭がよくなる方法や、運動神経がよくなる方法、優しくて人間味のある子に育つ方法ではなく、そのようになる「構造」と「根拠」を扱いました。つまり、頭のよい子どもが育つための「構造」と、そのために必要な「あそびの根拠」言い換えれば「発達課題」を理解することです。それによって親が、自信を持って子どもの発達段階に合った関わりが出来るようになり、結果として「頭がよくなる」ための土台と基本要素を手に入れることが出来るのです。

ここで「土台」とか、「基本要素」という言葉を使っているのは、「頭がよくなる」のは、先の話だからです。われわれが幼児教育の中で見据えるべきなのは、学童期や思春期における「頭のよさ」です。決して、幼児期に学童期の先取りをすることではないと考えるからです。そういうものは「頭のよさ」とは言いません。単にほかの子より先に覚えたというだけです。「頭のよさ」とは、向学心や好奇心、問題解決力や応用力といった「存在」と「メンタリティ」の土台の上に、言葉や数などの「思考」を乗せた結果です。そして、幼児教育に問われるべきは、この「存在」と「メンタリティ」の土台をいかに大きく育ててあげられるかです。この基本的な考え方を、現代の幼児教育の現状を交えてお話をしました。

その上で、根拠となる発達心理学を解説しました。ボウルビーの「アタッチメント理論」から精神発達を学び、エリクソンの「ライフサイクル理論」からは、発達課題を学び、運動科学における「運動あそび」からは、運動と発達を学び、ピアジェの「認知発達論」からは、知能や能力の獲得を学びました。そして、最後にウィニコットの「対象論」から、子どもの育ちにとっての「あそび」の重要性を学びました。そしてようやくここで、具体的に何をやるのかを提示しています。これらの理論背景に基づく「あそび」についてです。しかし、ここではまだ具体的な「あそび」というよりも、「あそびのテーマ」を扱い、「あそび発達」の概観を解説しました。ここまでで、私の講義は終了です。

そして、最後に、当協会の理事でもある細井香先生（東京家政大学准教授・医学博士）にご登壇いただき、「あそび発達」の具体的な「あそび」を、保育指針をベースに、7期に分けてそれぞれ解説していただき、この「あそび発達インストラクター」の学びは終了しました。



（文責：廣島大三）

受講生の声

「遊び」が子どもの発達に必要不可欠なのはわかっていましたが、なぜなのか、どんな根拠があるのかなど掘り下げ、そこからどんな風に考えて接していけばいいのかがわかりました。新米ママからベテランママまで様々な立場の人に新たな発見をしてもらえと思うので、しっかり理解して伝えていきたいです。

（保育士 34歳 東京都）

発達段階に応じた遊びの大切さを学ぶことができました。子どもの成長、発達は全て遊びの中から得られていることも自分の子育てを振り返りながら学ばせていただきました。リアルタイムに帰ってからすぐ娘の子育ての中で活かせそうです。お教室でも活かしていきたいと思います。

（ベビーマッサージ インストラクター 33歳 長崎県）

この『あそび発達インストラクター養成講座』を2日間の講座としてさらにコンテンツを充実させて全国で開催しております。詳細は当協会公式ホームページにてご案内しております。ご質問等ございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。



（社）日本アタッチメント育児協会 事務局

TEL：052-265-6526（平日 9時～18時） Eメール：info@naik.jp

<https://www.naik.jp/>

第6回 育児セラピスト全国大会

新しく「宝塚大学 看護学部」が認定養成校となったことを記念して、第6回は「淑徳大学短期大学部」「宝塚大学」の2ヶ所で開催いたします！

開催日程

- 東日本会場 / 淑徳大学短期大学部 (東京都板橋区)
2015年10月31日(土)、11月1日(日)
- 西日本会場 / 宝塚大学 (大阪市北区)
2015年11月14日(土)、15日(日)

1日目
(土曜日)

スキルアップ研修

心を癒すコミュニケーション術

※当協会認定資格 取得者が対象です。

いま、保育や看護、育児支援の現場で一番の課題となっているのは、「お母さんとのコミュニケーション」ではないでしょうか。ちょっとしたすれ違いが摩擦を生んでしまい、クレームなどの問題に発展してしまったり、対立を生んだりします。こうしたものの多くは、ある種のスキルと知識で回避できることも少なくありません。また、コミュニケーションの仕組みと構造を知ること、相手を癒してあげられるような、より成熟した人間関係を作ること可能です。この研修で学ぶ内容は、お母さんとのコミュニケーションだけでなく、職員間、家族間、友人間など、様々な人間関係において役に立ちます。

カリキュラム

- コミュニケーションの仕組みと構造
- 自分力・自分を発見する
- 相手力・相手を知る (対親力、対子ども力)
- 癒し力・癒すチカラと癒すスキル

2日目
(日曜日)

シンポジウム

教室に参加して、活動のヒントを見つけよう！

ヨガ、食育、あそび発達、キッズマッサージ、アタッチメント・ジムのお母さん向けの教室を開催します。実際に教室に参加できたり、親子が参加している教室を見学したりできます。資格を取得した後にどんな活動ができるのか具体的なイメージを持つことができたり、今後の活動のヒントが見つかると思います。



優秀実践者の発表から刺激をもらおう！

インストラクター、育児セラピストの中から、各分野で象徴的な活動をされている方を優秀実践者として表彰し、その活動を参加者でシェアします。この活動は、皆様自身の今後の活動の参考となったり、自分の進みたい方向やスタイルを見つける・考える良い機会になるのではないのでしょうか。



ランチパーティーでつながろう！

ランチを楽しみながら、全国のインストラクターや育児セラピストと交流ができます。今年の活動を振り返りながら、お互いの活動を知り、全国大会後も、地域でつながれる仲間と出会い、来年の活動に生かしてみませんか？



グループワークで来年を描こう！

地域ごとに分けたグループで、未来へ向けて行いたい活動を話し合います。一人ではなかなか始められなかった活動も、このワークで出会った仲間と実現してみませんか？



～ スタッフ あとがき ～



伊藤 瑛美

今年で第5回となる全国大会ですが、私は第1回からスタッフとして参加しています。参加者様の中には、第1回から毎年参加していただいている方もいらっしゃる、とてもうれしく思います。本当にありがとうございます。

「全国大会」というと、「積極的に活動をしていないと参加できないのかしら？」と思われてお問い合わせをいただくこともありますが、決してそんなことはありません。資格を取得したばかりの方や、なかなか活動したくても始められない方にも是非ご参加いただいて、今後のご活動へのパワーややる気を持ち帰っていただければと思います。次回の全国大会も、皆様のご参加をお待ちしています！



今井 香保理

全国大会は、普段お電話やメールでお話している皆さまと直接顔を合わせてお話をすることが出来る貴重な機会ですので、毎年本当に楽しみにしています。今回の全国大会も、皆さまの熱い想いや志を聞き、私自身もたくさんの刺激を受けました。地域

も年齢も職業も異なる皆さまが、同じ志を持って生み出すあの空間は本当に素晴らしく、たくさんのパワーをいただきました。私も事務局の人間として、皆さまのご活躍を支えられるように、新たなことにも挑戦し、成長したいと思います。また次回の全国大会でも皆さまにお会いできること、楽しみにしております！



梅原 礼子

つたないながらも司会を務めさせていただきました。至らない点も多々あったかと思いますが、皆様のご協力で無事終えることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。皆様と直接お会いすることができ、皆様の熱い想いやパワーを間近で感じるこ

のできるこの全国大会は、私にとっても貴重な場となっております。次回の全国大会は、「東京」以外に「大阪」での開催を予定しておりますので、これまで、東京までは遠くてご参加いただけなかった方々にもお会いできるのかなと、今からとても楽しみにしております。



瀧沢 貴浩

一昨年に引き続き、ビデオ撮影を担当いたしました。あまりにビデオカメラが馴染みすぎて「業者の人？」とよく勘違いされるのですが、協会のスタッフですので、会場でお困りのことがありましたら何でも申し付けください。笑

スキルアップ講座で真剣に学ばれる様子や、全国から集まったインストラクターの方々が出会ってすぐに打ち解けて楽しげに談笑される様子には、毎年たくさんのパワーをいただいております。今年も、みなさまが活き活きと学び、楽しげに交流される様子を、ファインダー越しに覗かせていただけるのを楽しみにしております。

日本アタッチメント育児協会 公式ブック

全国の書店・amazon.jp にて発売中！



アタッチメント・ベビーマッサージ

～感性豊かで幸せな子どもに育つ～

廣島 大三（著）/ 寺下 謙三（監修）/ 保健同人社（出版）

標準価格：1,200 円（税別）

赤ちゃんが生まれたら、ベビーマッサージを始めてみたい、と思っているお母さんは少なくありません。ベビーマッサージはオイルを使って、お母さんの手で赤ちゃんにマッサージをすることですが、大切なのは、お母さんと赤ちゃんの絆をしっかりと結ぶことです。本書では、発達心理学の観点から、お母さんと赤ちゃんのアタッチメント（愛着関係）をしっかりと作り、情緒豊かな「幸せな子ども」に育てるためのベビーマッサージを紹介します。



6歳までのアタッチメント育児

子どもを伸ばす 愛情の表し方・与え方 8つのメソッド

廣島 大三（著）/ 合同出版（出版）

標準価格：1,400 円（税別）

親子の「アタッチメント（＝愛着関係）」を育めば、子どもをもっと愛せる、子どもはもっと Happy！になる。親が親として成長し、ストレスがやりがいに変わる！心やさしく、知的好奇心にあふれた、頭の良い子どもが育つ！アタッチメント育児に Let's トライ！アタッチメント理論の基本概念から、親子の日常での営みの中でアタッチメントを育む具体的メソッドまで。

(社)日本アタッチメント育児協会

認定養成校のご紹介



(社)日本アタッチメント育児協会は、大学をはじめとする教育機関を「認定養成校」として認定し、大学カリキュラムとして講座コンテンツを提供し、各学内において、アタッチメント・ベビーマッサージ、アタッチメント・ヨガをはじめとする各種インストラクターや、育児セラピストの養成を行っています。

現在は、淑徳大学短期大学部 こども学科と、宝塚大学 看護学部助産学専攻科の2校が認定養成校になっており、それぞれの大学の学生は、卒業時(指定単位取得の上)に、保育士資格や助産師資格と併せて、アタッチメント・ベビーマッサージ、アタッチメント・ヨガ インストラクター資格や育児セラピスト1級資格を取得します。

淑徳大学短期大学部 こども学科

導入資格

「アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」
「育児セラピスト1級」

保育士、幼稚園教諭を養成する子ども学科にて導入。カリキュラムにおいては、「育児学」を、2単位の選択必修科目として新たに設定し、両資格の専門コンテンツを教授します。

そして「育児学」を含む、指定科目の単位を修得した学生は、卒業時に保育士資格と共に、当協会認定の上記資格を取得します。

宝塚大学 看護学部助産学専攻科

導入資格

「アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」
「アタッチメント・ヨガ インストラクター」
「育児セラピスト2級」

同大学 看護学部にて平成26年4月に新たに開設された助産学専攻科で導入。カリキュラムには、「アタッチメント・ベビーマッサージ」と「アタッチメント・ヨガ」を各2単位、計4単位の選択科目として新たに追加しています。これらの単位を修得した学生は、卒業時に助産師資格と共に、当協会認定の上記資格を取得します。

大学での認定養成校は、卒業する学生の就職に、有利な資格を与える機会を作るだけでなく、大学として、より現場に貢献できる学生を、社会に送り出すことにもつながっており、さらに、そうした資格が学内のカリキュラムで取得できる大学として、入学希望者の増加にもつながっています。

当協会は、今後も教育機関と連携を取り、こうした養成校の認定を、他の地方でも進める所存です。





淑徳大学短期大学部は、人を支えたい、社会を支えたいと願う
 あなたのための学びの場です。

人の幸せとは何か、より良い社会とは何かを考え、
 人と社会を支える力を身につけていきます。

自らを磨き、学び続ける姿勢。
 幅広く社会を考えることもできる視野の広さ。
 そして他人を思いやれる心。

この3つの力が、あなたと未来をつなぐ絆になります。

「ABMアタッチメント・ベビー・マッサージインストラクター」「育児セラピスト」(社)日本アタッチメント育児協会認定養成校



淑徳大学短期大学部
 Shukutoku University Junior College

- こども学科 (保育士、幼稚園教諭養成)
- 健康福祉学科
 - 社会福祉コース (社会福祉士、介護職員初任者研修養成)
 - 介護福祉コース (介護福祉士養成)
 - 医療事務・秘書コース (医療事務従事者養成)



Information

〒174-0063 東京都板橋区前野町 2-29-3 Tel 03-3966-7637 (東京アドミッションセンター) <http://www.jc.shukutoku.ac.jp/>

「大阪・梅田」で 助産学を学ぶ



宝塚大学

看護学部 助産学専攻科

平成26年4月開設

本専攻科は(社)日本アタッチメント育児協会より養成校としての認定を受けています。

【お問い合わせ先】入試課

☎ 0120-580-007

Mail : kango@takara-univ.ac.jp
 〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目13番16号



Access

阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩約5分
 JR「大阪駅」より徒歩約10分
 地下鉄「梅田駅」より徒歩約10分





監修・発行：一般社団法人 日本アタッチメント育児協会

URL : <https://www.naik.jp> E-mail : info@naik.jp

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-15-14 パックス金山 4F

TEL : 052-265-6526 FAX : 052-265-6529